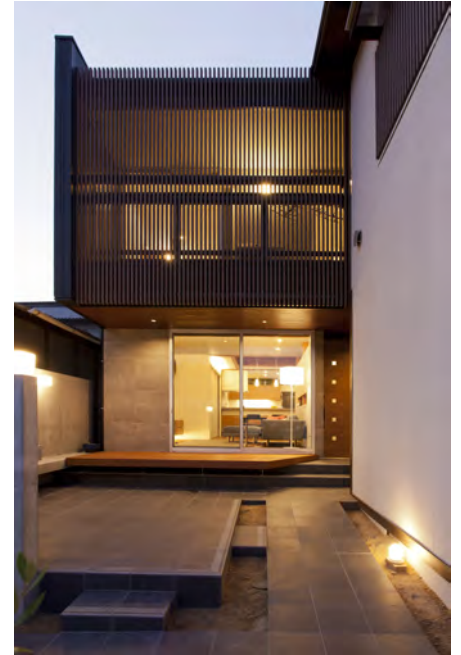




東側外観



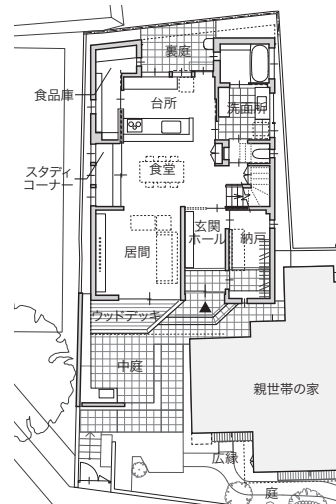
中庭より正面外観を見る

[三世代で支え合う暮らし]

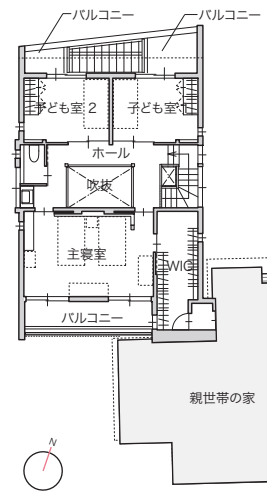
実家の隣に子世帯の家を新築することになった。これに合わせ親世帯もリフォームを行い、三世代で支え合う暮らしが描かれた。家族みんなが、帰ることを楽しみにするような住まいが目標である。

二世帯が程よい距離感を保てるよう、お互いの建物は中庭を介してゆるやかに繋ぐことにした。子世帯の玄関とリビングを中庭に面して設け、中庭は親世帯の庭へと続く。お互いが縁側から気軽に声を掛けられるような関係になった。

部屋の隅々まで光や風を届けるために、建物の中心に吹き抜けを据えた。この吹き抜けを幹（みき）に見立てて、それぞれの部屋が房（ふさ）のように立体的にくっつく設計だ。それぞれの部屋の扉は全て引き戸で、生活のシーンに合わせて繋がり方を調整できる。扉はどこも開けたまま生活できるよう工夫しており、なるべく空間を仕切らないよう心がけた。これにより空間に広がり生まれ、家中どこにいても家族の気配が感じられるようになった。



1階平面図



2階平面図

所在地	尾道市栗原町
主要用途	専用住宅
構造	木造
階数	2階建
面積	敷地面積 362.30㎡
	建築面積 86.61㎡
	延床面積 135.34㎡



1階居間より中庭を見る



1階食堂より吹抜を見る



東側全景



左側が子世帯、右側が親世帯の家